

令和2年4月20日

新入生の皆さんへ

倉敷市立短期大学
学長 安達 励人

117名の新入生の皆さん、倉敷市立短期大学ならびに専攻科への入学、おめでとうございます。今春は、新型コロナウイルス流行のために、4月7日に予定していた入学式を開催することができませんでした。皆さんだけでなく保護者やご家族の方々もこの晴れの日を心待ちにしておられたことと思いますので、その気持ちにお応えできなかったことは誠に残念です。規模を極力縮小して実施したオリエンテーションには、新入生全員に参加していただきましたが、その後は、通常の学生生活を始めることができないという厳しい状況が続いています。

この異例の事態に、不安を募らせている人は多いと思います。本学では現在、皆さんが安全に学ぶことができるよう、授業や学生支援、環境整備などの点検と工夫、改善を進めています。また、大学からの電話やメールによって皆さんの声を直接お聞きしながら、一人ひとりの懸念を少しでも軽減できるよう努めているところです。相談したいことがあれば、皆さんからも本学にご連絡ください。

新型コロナウイルスとの闘いは、長期間に及ぶと予想されています。やがて授業が始まった後も、辛抱の日々が続くことでしょう。新入生の皆さんには、こうした混乱の渦中だからこそ、本学での学びを通して、人間社会の基盤となる物事の本質を捉える目を養ってほしいと思います。保育は、太古の昔から人類が連綿と続けてきた営みであり、服飾美術におけるあそび心を伴った美の探求は、人の根源的な行為だと考えられています。変わらない真理を追究することは、ただ単に昔を振り返ることではありません。それは人類の普遍的価値を継承、発展させることであり、皆さんが未来をいきいきと生きる力の確かな礎になると考えます。

本学の学歌のタイトルは「はばたくつばさ」といいます。倉敷市立短期大学で皆さん自身の翼をたくましく育て、2年後または4年後には、入学した時よりも元気にこの学び舎から羽ばたいてほしいというのが、私たち教職員の変わらない願いです。